

はじめに

本校は、明治6年6月22日、葉鹿小学校として開校以来、本年6月で創立149年、そして、令和5年度には、創立150周年を迎えます。その間、行政上では、葉鹿町立の時代や坂西町立の時代を経て、昭和37年に足利市立葉鹿小学校となり現在に至ります。ちなみに、現在使用している校舎は、昭和55年に建てられたものです。

本校の位置する葉鹿地区は足利市の西部にあり、北に山地を背負い、東に松田川、南に渡良瀬川が流れる自然豊かな土地柄です。近年は、住宅の増加や中規模店舗の進出等、都市化の傾向を呈し、葉鹿地区で生活全般ができています。地域の方々の学校に対する大きな期待と熱い教育愛に支えられ、葉鹿小学校は、地域のなかで長い歴史と伝統を築いてきました。一昨年度には、地域の方々の結成された校歌顕彰実施委員会のご尽力により、校舎西側ロータリー内に校歌碑が建立されました。わたしたちは、地域とのつながりを強く意識して、本校の教育をさらに発展させていかなければならないと思いを新たにしました。

新型コロナウイルス感染症の影響が教育活動に影響を落とし始めてから、今年で3年目を迎えます。特に3学期に入ってから、学校現場での感染拡大が現実のものとなり、日々の学習や校内での活動においても「できない」ことが増え、児童も教師もがまんの日々となりました。そのような中でも、子どもたちはうつむくことなく、前を向いて「今できること」を見つけて夢中になる姿が多く見られました。そして、その子どもたちの姿が私たち教職員を支え励ましてくれました。今年度（令和4年度）のスタートに当たり、私たちも子どもたちに負けずに、今できることを精一杯やっていく姿勢で臨んでいきたいと思えます。例えば、昨年度より導入されたタブレット端末。この活用方法を模索するところから始まった令和3年度でしたが、子どもたちの意欲と教職員の熱意が1つとなって、タブレット端末を使った授業や活動はさまざまな教科・分野で導入されました。新しい生活様式の中での新しい学び方の1つとして、今年度もさらに推進されることが期待されます。

学校は、子どもたちにとって安心して過ごせる場であると共に、喜びや達成感を十分に味わえる場でなければなりません。これからの時代を生きる子どもたちに対し、確かな学力を育成するとともに、豊かな心や健やかな体を育み、「生きる力」を身に付けさせていきたいと思っています。そのために、「子ども中心の学校」「学び合い、ともに育つ学校」「開かれた活力ある学校」「安全で安心な学校」を目指す学校像と掲げ、本校学校教育目標のさらなる具現に迫っていきたいと考えています。

私たちは、子どもに寄り添い一人一人を認め伸ばせる教師、子ども・保護者・地域から信頼される教師を目指しつつ、常に指導力の向上に努め、組織の一員としての同僚性を発揮しながら日々の教育活動に当たっていきたくと思っています。そのことが、子どもたちにとって「明日が待たれる学校」に必ずやつながっていくものと信じています。

令和4年4月

足利市立葉鹿小学校長